

乗馬センター便り 春号

令和5年5月

新年度挨拶 NPO法人北海道障がい者乗馬センター 理事長 今木康彦

今年度は様々な人に体験を通して馬の魅力を伝えていきたと考えています。当センターに訪れただけでホッとする場であってほしく、その上で個々に合わせた心身をサポートするプログラムを提供していきたいと思えます。また、当センターは多くのボランティアスタッフに支えられており、それぞれができることを発揮できる場であってほしいとも願っています。今年度もどうぞ乗馬センターをよろしくお願いいたします。

新職員 福島（たかし）挨拶

4月より後藤さん、すーさん（菅沼）の業務を引継ぎ職員として採用されました。2014年にボランティアに参加した時は転勤族の札幌勤務2年目でした。札幌が気に入り自宅を購入したのですが2017年春に神奈川に転勤、3年間札幌を離れました。単身赴任中に退職を決意2020年コロナ渦の春に札幌へ戻り、鍼灸学校に入学、鍼灸国家試験に合格。今後は鍼灸の知見も活かしながら乗馬指導していきます。インストラクターだけでなく運営全般に携わるため今までとは異なる一面を見せることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

新馬ケントアの始動

4月3日に小次郎ジュニアとの入替えでやってきたポニーのケンタですが馴致も順調に進み馬車デビューを無事に果たしました。現在騎乗も出来るように調整中です。今年度も「そらぷちキッズキャンプ」の事業受託が決まっていますが、ケンタは派遣馬として活躍が期待されています。（全6回、第一回目は5月末。）

NPO総会開催について（4/22）

定期総会が開催され2022年度の振り返りでは、試用中であったハチの購入、新たな取組として大阪の修学旅行生、道警からの受入れを実施しました。酪農学園大学の獣医学部との取組みでは馬の管理委託だけでなく、獣医学生教育実習の場としても連携しました。2023年度に向けては遊休となっている平日（火、金）の活用、馬場整備に関する寄付金の活用について話し合いがされました。また功労馬ウイングが引退となり7頭体制で活動することになります。役員改選では菅沼理事の退任（補充なし）が決定されました。
※放課後等デイサービス事業は一旦白紙になりました。

ご支援のお願い（除雪に関して）

除雪が間に合わずレッスンを中止せざるを得ないことが毎年発生しています。また除雪をする職員やボランティアも疲弊してしまい、私自身（福島）がボランティアだった昨年までは妻（ようこ）を引き連れ、夜中から朝方まで除雪をすることもありましたが今後はそれも出来なくなります。広い馬場を効率よく除雪するためには、雪を集めてから飛ばすことが必要ですが、人力のママさんダンプに代わる機材の導入を検討しています。

「目標金額100万円」ご支援よろしくお願いいたします。

お問い合わせは therapy-joba@nifty.com （福島まで）

乗馬センター便り

春号



寄付金で馬場整地グッズを導入しました！

人馬の安全と健康に



新Tシャツ@3200円

お問い合わせください！

「馬の価値は富に勝る」



ケンタ馬車デビュー（馬車メニューも登場予定）



除雪機のご支援
お願いします。



・新入りケンタ よろしくね！

・引退した若き日のウイング、左は初代ケンタ